

編集後記

近年、会誌の発行が大幅に遅れ、申し訳なく思っています。年度内には正常化についての会議を開き、新しい年度に備えることになっていきます。会員の皆様のご意見もお待ちしております。

本号の編集は担当者の都合で十一月も末になり交替しました。原稿の手持ちもなくてのことでしたが、幸いに緒方さんが寄稿を内諾して戴き、巻頭収録の作品を寄せて戴き助かりました。天台座主（弥勒寺講師）義海の実像を解明することは大きな課題です。これに続く次なる作品が楽しみです。石橋の研究では多くの実績を重ねられている岡崎文雄さんからは、明治中期の石橋架設の論説を戴きました。大分県の地形と財政のことなども併せ考えさせられる作品です。栗田さんの聖嶽洞窟事件の真相解明のご努力は、なおも続くことを願っています。この貴重な作品に続いて、会員以外の方でもよいが、これをベースに次なる作品が寄せられことを期待しています。三重野さんの着実な研究、まことに貴重です。同様これに続く次なる作品をお待ちしています。

近年は会員の著書紹介・関係施設の紹介などの寄稿が少なくなりましたが、いわば短編ものの寄稿もお待ちしております。